

アクセルをより知っていただくためのIRマガジン

AXELL

R e v i e w

■ 第22期中間報告書

■ 2016.4.1 ▶ 2016.9.30 証券コード：6730



代表取締役社長 松浦 一教

▶ 社長メッセージ

**第24期の業績目標、
さらにはその後の成長に向けて、
多様な成長戦略を実行します。**

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第22期中間期（2016年4月1日から2016年9月30日）の事業及び決算の概況についてご報告申し上げます。

■ 当中間期の業績について

**主力製品であるグラフィックスLSIが
想定を上回る販売となりました。**

当中間期は、売上高4,010百万円（当初計画比610百万円増）、営業利益64百万円（同514百万円増）、経常利益63百万円（同513百万円増）、四半期純利益45百万円（同495百万円増）となりました。9月15日に中間期の業績予想を修

正しましたが、その数値に対して若干の増収増益での着地となりました。

当社の中核であるパチンコ・パチスロ機市場は、伊勢志摩サミット開催に伴うパチンコ・パチスロ機の入替え自粛などの影響で、第1四半期は予測通り厳しい状況での推移となりました。一方で第2四半期は「検定機と性能が異なる可能性のあるぱちんこ遊技機」の年内撤去に向けた入替え需要の発生により、パチンコ・パチスロ機向けグラフィックスLSIの販売が好調に推移し、当中間期の収益を牽引しました。その他の製品では、メモリモジュールやLEDドライバLSIなどが当社顧客の販売計画の見直しなどにより、当初計画を下回る結果となりましたが、グラフィックスLSIの販売がこれを補い、売上高では当初計画を上回ることができました。また、販売費及び一般管理費は、上期に予定していた研究開発費の一部が下期にずれ込んだことで、当初計画に対し186百万円の未消化となりました。以上のように、相対的に利益率の高いグラフィックスLSIの販売が増加する一方、販売費及び一般管理費が当初計画を下回ったことにより、営業利益以下の各利益では当初計画を大幅に上回る実績となりました。

また、前年同期との比較では減収減益となって

いますが、これは前期の業績が上期偏重型だったことに対し、当期は下期偏重型の計画であることが主要因です。通期では若干ではありますが、前期を上回る業績計画となっています。

■ 通期の業績見通しについて

市場動向に不透明さは残るものの

通期計画に対し順調に進展しています。

当中間期の業績は当初計画を上回る結果となりましたが、前述の入替え需要後の市場動向に不透明さが残ること、さらには通期では販売費及び一般管理費の計画に変更がないことなどを鑑み、通期の業績計画は今回修正していません。通期の業績計画では、売上高10,000百万円（前期比11%増）、営業利益300百万円（同23%増）、経常利益300百万円（同36%増）、当期純利益200百万円（同76%増）となっています。通期計画に対する中間期までの進捗は、売上高が約40%、営業利益・経常利益が約21%となっていますが、当期は下期偏重型の業績計画であり、通期計画に対して順調に推移していると考えています。

また当期の配当は、前期と同額の1株当たり

■ 第22期中間期の業績結果

(百万円)

	前中間期実績	当中間期当初計画	当中間期実績
売上高	6,175	3,400	4,010
売上原価	3,300	1,900	2,182
売上総利益	2,875	1,500	1,827
販売費及び一般管理費	2,103	1,950	1,763
営業利益	771	△450	64
経常利益	750	△450	63
四半期純利益	519	△450	45

■ 第22期通期の業績計画(前期との比較)

(百万円)

	前期通期実績	当期通期計画	増減率
売上高	8,982	10,000	11%
売上原価	4,880	6,000	23%
売上総利益	4,101	4,000	△2%
販売費及び一般管理費	3,857	3,700	△4%
営業利益	244	300	23%
経常利益	220	300	36%
当期純利益	113	200	76%

年間配当額10円(期末配当10円)を予定しています。計画純利益から算出される配当性向は56%です。当期は下期偏重型の業績計画であることや1株当たり配当額の水準、中間配当実施コストなどを総合的に勘案し、当期の配当金については期末に一括してお支払いする計画としています。

前期、当期は将来の成長に向けた積極的な開発投資を実施していることもあり、利益及び配当の水準が従前に比較し低下していますが、開発投資は持続的な成長に必要な投資と考えており、ご理解を賜りたいと存じます。

■ 中長期の成長戦略について

パチンコ・パチスロ機市場に加えて、 その他市場の創出に積極的に取り組めます。

後記の『アクセルを知る4step』でご紹介(P.5)しているように、当社は中期的な成長戦略としてパチンコ・パチスロ機市場での①「グラフィックスLSIのシェアアップ」②「システムビジネスへの展開」③「新たな演出周辺製品の開発」を推進し、第24期(2019年3月期)の業績目標であるROE15%、売上高180億円の達成を目指して

います。これまでにグラフィックスLSIのモジュール製品が、複数の顧客において採用が内定していますが、新たな演出周辺製品についても、当中間期において一部製品の生産をスタートしました。当社では業績目標に向けて、引き続き3つの取り組みに注力していきます。

また、その後の成長も見据えて、VR(仮想現実)やゲームでの動画表現の可能性を広げる「H2MD」などのソフトウェアIP製品の拡販にも取り組んでおり、当中間期においてはヤフー株式会社の子会社であるリッチラボ株式会社と動画広告での表現拡大に向けた取り組みで協業することに合意しました。また、車載機器、民生機器などに向けたザインエレクトロニクス株式会社との業務提携、さらには車載機器向けのソフトウェア開発に強みを持つエスディーテック株式会社への出資など将来の成長に向けたいくつかの施策を実行しました。当社ではパチンコ・パチスロ機市場での安定収益の確保と新規事業の創出を目指した取り組みを有機的に展開し、持続可能な成長を目指します。

株主の皆さまには、当社の状況と方針をご理解いただき、引き続きご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

■ 通期計画に対する進捗

(百万円)

	当中間期実績	当期通期計画	進捗率
売上高	4,010	10,000	40%
売上原価	2,182	6,000	36%
売上総利益	1,827	4,000	46%
販売費及び一般管理費	1,763	3,700	48%
営業利益	64	300	21%
経常利益	63	300	21%
純利益	45	200	23%

■ 貸借対照表(要約)

(百万円)

	前中間期末	当中間期末	増減率
流動資産	11,620	10,818	△7%
固定資産	918	1,355	48%
資産合計	12,538	12,173	△3%
流動負債	765	842	10%
固定負債	58	34	△42%
純資産合計	11,714	11,296	△4%
負債・純資産合計	12,538	12,173	△3%

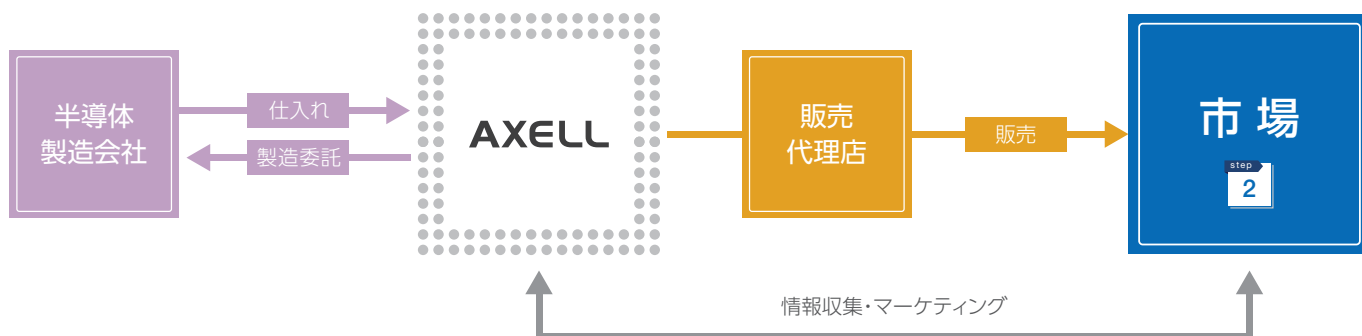
アクセルを知る 4step

step

1

ビジネスモデルの特徴

製造設備を持たないファブレス半導体メーカーとして、リソースを研究開発とマーケティングに集中。市場の最新動向を的確に捉え、独創的な技術で顧客ニーズに応えた製品開発を実現しています。



step

2

市場と主要製品

パチンコ・パチスロ機市場

当社の主な事業領域はパチンコ・パチスロ機市場です。

主力製品であるグラフィックスLSIの**市場シェアは約50%**。トップメーカーとして、革新的な技術と付加価値の高い製品で、市場ニーズに応えています。

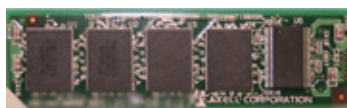
ほかにもLEDドライバLSIやメモリモジュールなど、パチンコ・パチスロ機のエンターテインメント性を高める演出周辺製品でも着実な実績を積み上げています。



グラフィックスLSI

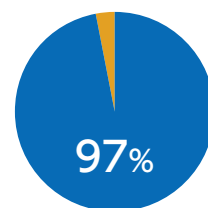


LEDドライバLSI



メモリモジュール

総売上高に占める
パチンコ・パチスロ機
市場向け製品の割合
(第21期)



組み込み機器市場

医療機器や建設機器のモニター、POSシステム、デジタルサイネージなど、さまざまな組み込み機器に最適なグラフィックスLSIを提供しています。



グラフィックスLSI



その他

パソコン・スマートフォンのブラウザで再生できるソフトウェアムービーコーデック「H2MD」などのソフトウェア製品などの販売も行っています。

H2MD

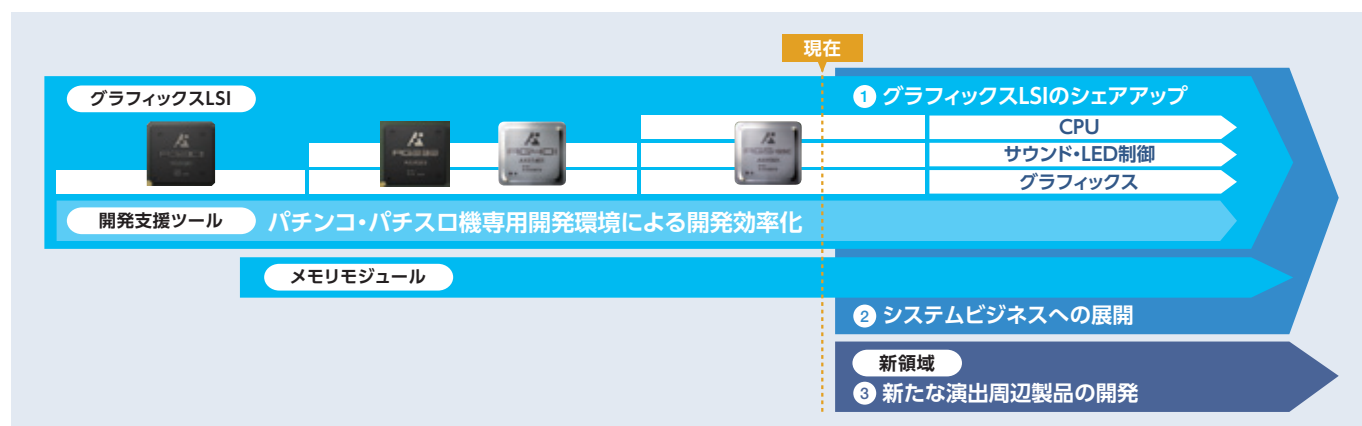
step

3

成長戦略と業績目標

アクセルは、「成長戦略」により、第24期（2019年3月期）に**ROE15%、売上高180億円達成**を目標に活動しています。

成長戦略



1 グラフィックスLSIのシェアアップ

グラフィックスLSIの高機能化や開発支援ツールによる顧客への開発サポートなどにより、当社のグラフィックスLSIの付加価値を高め、さらなるシェア拡大を目指します。

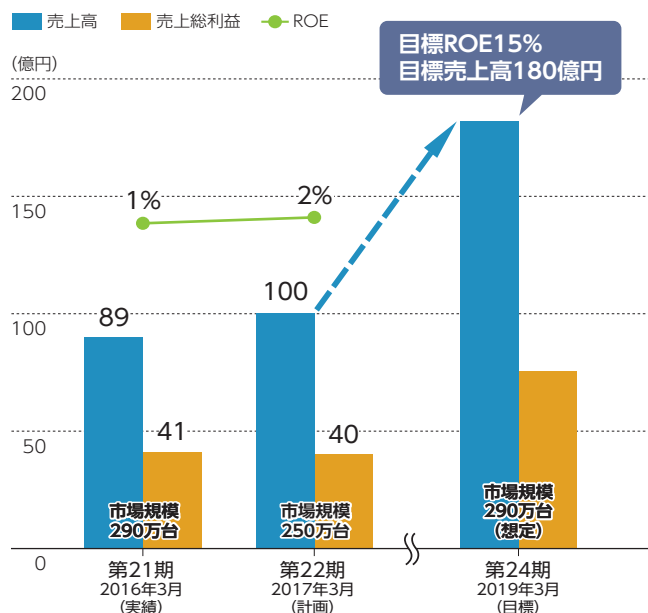
2 システムビジネスへの展開

グラフィックスLSIを核に、関連する電子部品やメモリモジュールなども1つのシステム製品として販売することで、顧客開発の効率化と当社製品の販売単価上昇を目指します。

3 新たな演出周辺製品の開発

パチンコ・パチスロ機の演出関連部材には、現在の当社の事業領域以外にも多くの周辺製品があります。それらの領域でも新たな製品を開発し、事業規模拡大を目指します。

業績目標

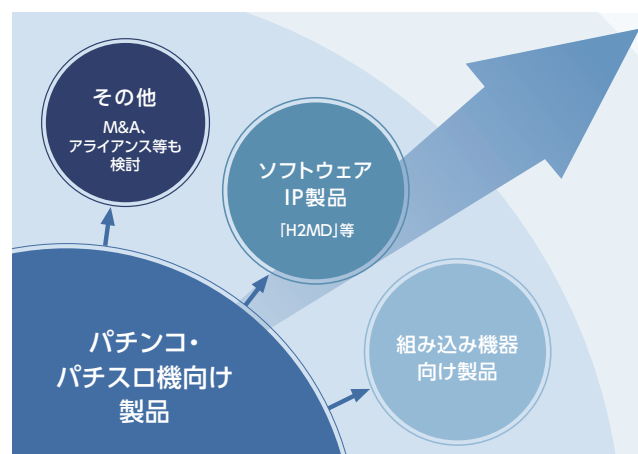


step

4

今後の成長に向けて

2019年3月期以降の成長に向けて、パチンコ・パチスロ機向け製品で培った技術を活用して新市場への展開を目指します。



会社概要

設立年月日	1996年2月1日
資本金	10億18百万円
社員数	85名
事業内容	●半導体集積回路及び半導体集積回路を組み込んだプリント基板の設計、製造、販売 ●ゲーム機器の設計、製造、販売 ●事務機器の設計、製造、販売 ●インターネットを利用した各種情報提供サービス業 ●画像又は音声に関する圧縮伸長処理技術の開発、販売 ●ソフトウェアの開発、販売 ●前各号に付帯する一切の事業
取締役	取締役社長(代表) 松浦 一教 取締役副社長(代表) 齊藤 昭宏 取締役 千代 進弘 取締役 蟹江 幸司 取締役(監査等委員) 吉田 良樹 取締役(監査等委員) 三村 勝也 取締役(監査等委員) 鈴木 眞巨 取締役(監査等委員) 五十島 滋夫 ※監査等委員は全員独立社外取締役です。 ※吉田良樹氏は常勤の監査等委員です。
所在地	〒101-8973 東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原UDX 南ウイング10階 TEL:03-5298-1670 FAX:03-5298-1671
主要取引先	緑屋電気株式会社 岡谷エレクトロニクス株式会社 アヴネット株式会社
URL	http://www.axell.co.jp/

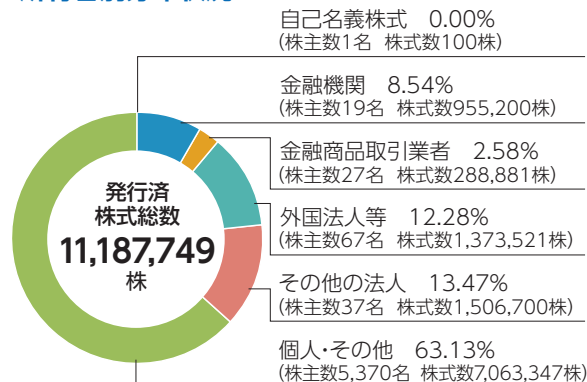
株式の概要

発行可能株式総数	23,112,000株
発行済株式総数	11,187,749株
株主数	5,521名

株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
佐々木譲	1,243,200	11.11
緑屋電気株式会社	849,000	7.58
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	825,800	7.38
市原澄彦	595,800	5.32
柴田高幸	594,800	5.31
松浦一教	388,800	3.47
奥村龍昭	369,000	3.29
森屋和喜	335,600	2.99
株式会社アバーンデータ	260,000	2.32
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	195,500	1.74

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日 (その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします)
期末配当金 受領株主確定日	3月31日 (中間配当を実施する場合は9月30日)
公告方法	電子公告により当社ホームページ (http://www.axell.co.jp/) に掲載いたします。 ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)

お知らせ

株式に関するお手続きについて

- (1) 株主さまの住所変更、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなっております。従来同封いたしておりました当社専用の「配当金振込指定書」は同封を取りやめております。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問合わせください。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



Non VOC INK Version 2
VOC (揮発性有機化合物) 成分ゼロの
100%植物油のインクで印刷しています。

